

ご購入いただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

**安全上のご注意**

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。  
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	<b>警告</b>	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

## ■施工上のご注意

<b>警告</b>		
	分解・改造や本体へ二次加工はしないでください。 故障・感電・けがの原因になります。 <small>分解禁止</small>	
	アース接続を必ず行ってください。 感電の原因になります。 <small>アースせよ</small>	
	電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。 故障・感電・けがの原因になります。	
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を 厳守し、必ず専用の電源回路としてください。故障・感 電・けがの原因になります。	
電源には使用する電線サイズに適した漏電ブレーカ (感度電流 30mA 以下) を選定し取り付けてください。 感電の原因になります。  配線がファンに巻き込まれないように、結束バンドな どで固定してください。故障・感電の原因になります。  配線は適合した電線、圧着端子および圧着工具を使用 してください。発熱・火災の原因になります。		

<b>注意</b>										
	本製品をキャビネットに取り付ける際は、キャビネット 内、外側取付面に凹凸がある製品には使用しないでくだ さい。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。									
	積雪時に本製品が埋没しない場所、高さに取り付けてく ださい。故障・能力低下、所定の IP 性能が得られないお それがあります。									
	取付作業が難しい場合は、二人以上で作業を行ってください。 けがの原因になります。									
使用するねじは、指定されたものを使用してください。取 り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。 締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が 得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合 は、製品を破損するおそれがあります。										
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">ねじの呼び</th> <th style="padding: 5px;">適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">カバー取付ねじM4×6</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">1.0~1.5</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ファンユニット取付ねじM4×6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">排気口パネル取付ねじM4×6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">取付ナットM5</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; padding: 5px;">1.5~2.0</td> </tr> </tbody> </table>			ねじの呼び	適正締付トルク N・m	カバー取付ねじM4×6	1.0~1.5	ファンユニット取付ねじM4×6	排気口パネル取付ねじM4×6	取付ナットM5	1.5~2.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m									
カバー取付ねじM4×6	1.0~1.5									
ファンユニット取付ねじM4×6										
排気口パネル取付ねじM4×6										
取付ナットM5	1.5~2.0									

## ■使用上のご注意

<b>警告</b>		
	感電の原因になります。 ・通電中は充電部に触らないでください。 ・清掃や保守点検時は必ず電源を OFF にし、電源の供 給を止めてください。 ・配線の引っ張り、挟み込みで、配線を傷つけたり、無理 なストレスをかけないでください。 <small>感電注意</small>	
	濡れた手で操作しないでください。 故障・感電の原因になります。 <small>ぬれ手禁止</small>	
次のような場所では使用しないでください。 故障・感電・火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所</li> <li>・常時高温となる場所</li> <li>・有機溶剤のかかる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・導電性粉塵(カーボン繊維、金属粉)のある場所</li> </ul>		

## ⚠ 警告

⊘	本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所には使用しないでください。		定格電圧でご使用ください。使用電圧は定格電圧の±10%以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。故障・感電・火災の原因になります。
!	保守点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けが・火災の原因になります。	!	異常時（寿命による動作停止、焦げ臭いなど）は電源を OFF にし、電源の供給を止めてください。感電・火災の原因になります。
!	定期的にファンが正常に回転動作するかを確認してください。正常に回転動作していない状態で放置した場合、発熱・火災・感電の原因になります。		

## ⚠ 注意

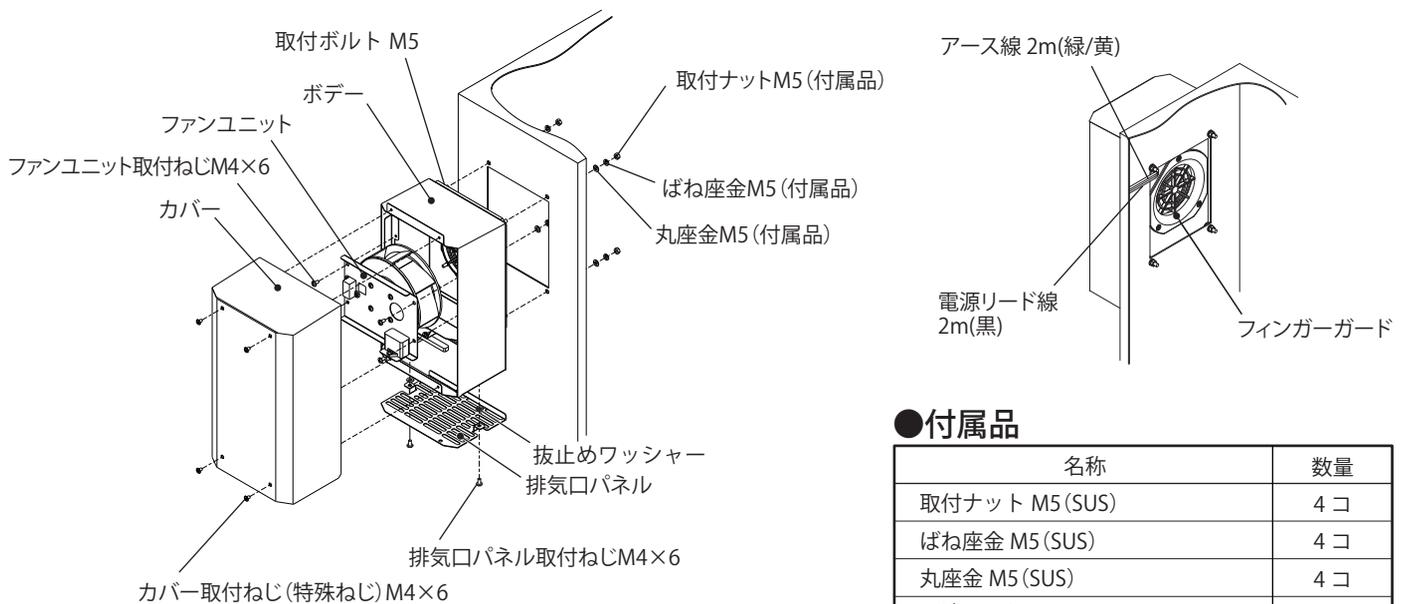
	精密機器ですので振動・衝撃を与えないでください。故障の原因になります。		取付キャビネットに対する耐電圧試験を行う場合は、本製品の配線を取り外して行ってください。故障の原因になります。
⊘	本製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。	!	長期間の使用で取付部の傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増し締めしてください。破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
⊘	次のような場所では使用しないでください。故障・誤動作の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用温度範囲外となる場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・塩分が多い場所</li> <li>・極度に塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・ノイズ（電界、磁界）の強い場所</li> </ul>		

### ■ファンに対するご注意

## ⚠ 注意

⚠ 回転物注意	けがの原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カバー、フィンガーガードを外したまま運転をしないでください。</li> <li>・ファン回転部に指や異物を入れないでください。</li> <li>・保守点検時は（ファンの回転を点検する場合を除き）必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。</li> <li>・付属の警告表示ラベル（回転物注意ラベル）をキャビネット内のファン近傍に貼り付けてください。</li> </ul>
------------	--

### ■各部の名称



### ●付属品

名称	数量
取付ナット M5 (SUS)	4 コ
ばね座金 M5 (SUS)	4 コ
丸座金 M5 (SUS)	4 コ
L 型レンチ (カバー取付ねじ用ヘキサロピュラ穴 No.8)	1 コ
回転物注意ラベル	1 枚
取扱説明書（本紙）	1 部

#### ご注意

L 型レンチは保守点検時のカバー取り外しに必要となります。紛失しないように保管してください。

# 仕様

屋内・屋外兼用 IP性能：IP45<sup>※1</sup>(ファン動作時 IP23)(カテゴリー 2)

材質(板金)：ステンレス鋼板(SUS304)、定格周波数：50/60(Hz)、使用温度：-20～+50℃、使用湿度：95%RH以下

品名記号	外形寸法 mm			定格電圧 V 単相	最大風量 m <sup>3</sup> /min <sup>※2</sup>	最大静圧 Pa <sup>※2</sup>	定格電流 A	起動電流 A	定格消費 電力 W	騒音 dB(A) <sup>※3</sup>	質量 kg	表面処理 <sup>※4</sup>
	ヨコ	タテ	フカサ									
SFT-17L	170	309	113	AC100	2.1/1.9	178/220	0.17/0.20	0.34/0.39	17/20	約 49/46	2.8	粉体塗装
SFT-17L-2				AC200		172/210	0.08/0.09	0.21/0.23	16/19			
SFT-30LA	303	425	142	AC100	5.2/4.5	135/185	0.34/0.39	0.70/0.68	34/38	約 46/43	6.1	
SFT-30L-2				AC200		130/166	0.14/0.18	0.33/0.31	27/34			

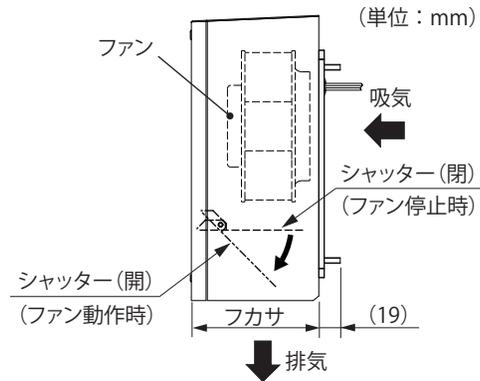
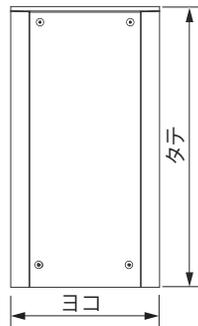
※1. IP性能は IEC 規格 60529 に基づく試験によるキャビネット側面取付時(ファン停止時)の性能です。キャビネット天井面に取り付けた場合は IP44(ファン動作時 IP2X)となります。上記 IP性能以上のキャビネットに取り付けた場合のキャビネットの IP性能を示します。当社判定基準による評価結果です。

※2. 最大風量、最大静圧の測定方法はダブルチャンバー方式です。

※3. 騒音は反響の少ない無響音室で測定した時の値です。現地での据付環境、および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意してください。

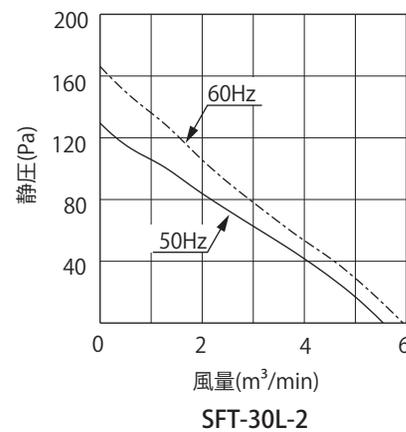
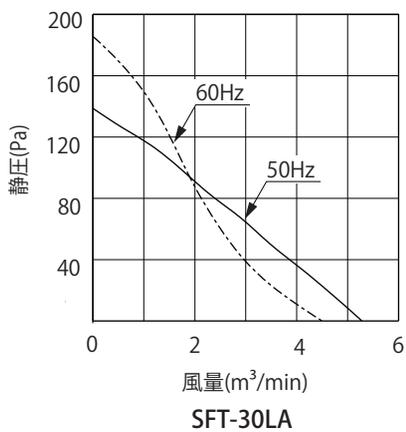
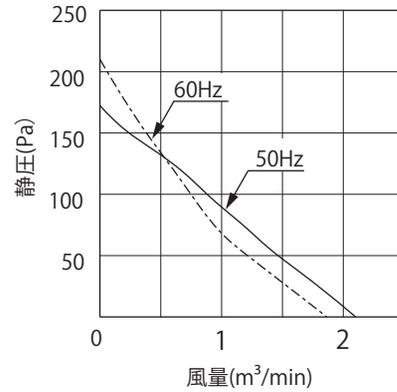
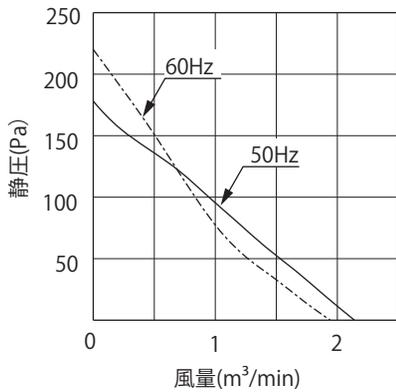
※4. カバー、排気口パネルは粉体塗装となります。色彩はライトベージュ色(マンセル値：5Y7/1)です。

## 【外形寸法図】



## ●風量-静圧特性(参考値)

定格電圧印加時の値です。



## ■取付

### ⚠注意



取付作業が難しい場合は、二人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。

- ・保守点検の容易な位置に取り付けてください。

#### ⚠注意

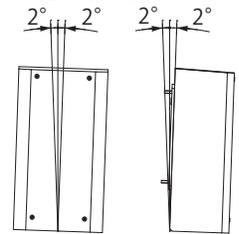
- ・高所での取付、保守点検時には、下に人がいないことを確認してください。  
製品や部品を落下させた場合、けがをするおそれがあります。
- ・周囲に充電部がある環境での取付、保守点検時には、充電部の保護を行ってください。  
製品や部品を落下させた場合、短絡するおそれがあります。
- ・屋内、屋外で使用するキャビネットの側面に取り付けてください。屋内で使用される場合、キャビネット天井面、側面共に取付可能です。キャビネット天井面取付時の IP 性能は IP44 (ファン動作時 IP2X) になります。

#### ⚠注意

- ・キャビネット内に取り付けしないでください。
- ・運搬、取付作業の際、振動、衝撃などを与えないでください。
- ・吸気口および排気口の通風を妨げないよう、吸気口や排気口から障害物までの距離を 150mm 以上離すことをおすすめします。  
(5 頁「●適切な使用方法」を参照)
- ・フィルター交換が可能な空間を確保してください。(フィルターの交換、清掃については 7 頁「■オプション」を参照)
- ・取付可能板厚のキャビネットに取り付けてください。取付可能板厚は 1.0 ~ 3.2mm です。

#### ⚠注意

- キャビネット取付面の反り、パッキンの劣化などにより所定の IP 性能が得られないおそれがあります。  
その場合にはキャビネット取付面を補強するか、市販のシーリング材を塗布することをおすすめします。  
(推奨シーリング材：セメダイン株式会社製シリコンシーラント 8060 プロ相当品)
- ・前後左右とも傾きがないよう ( $\pm 2^\circ$  以下) に、水準器などで確認してください。



#### ⚠注意

- ・所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
- ・標高 2000m 以下の場所に設置してください。

#### ⚠注意

- 能力低下および故障の原因になります。

## ●取付方法

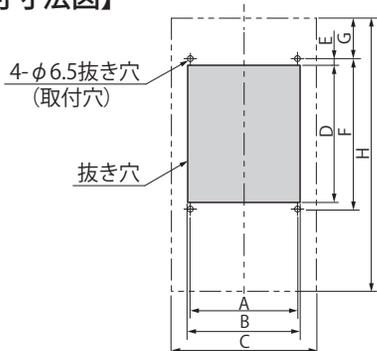
1. キャビネットに抜き穴加工してください。(【取付寸法図】を参照)

#### ⚠注意

- ・必ず指定寸法で加工してください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
- ・取付面にバリが生じた場合は、必ずバリ取りを行ってください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
- ・抜き穴加工した取付面は、必ずタッチアップペイント (弊社型番 :BP81) など で補正を行ってください。  
錆が発生するおそれがあります。
- ・本製品をヨコに並べて使用する場合の取付ピッチは必ず (外形ヨコ寸法 +20) mm 以上としてください。  
また、タテに並べて使用する場合は (外形タテ寸法 +150) mm 以上としてください。

2. 付属の取付ナット M5、ばね座金 M5、丸座金 M5 にて、キャビネットへ確実に固定してください。
3. 付属の回転物注意ラベルをファン近傍のキャビネットに貼り付けてください。

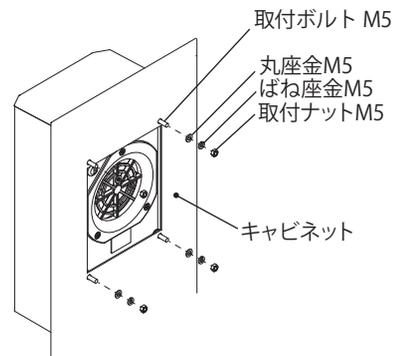
### 【取付寸法図】



#### ⚠注意

- ・2点鎖線は本製品外形を示します。
- ・キャビネット外側から見た図です。

(単位:mm)



品名記号	A	B	C	D	E	F	G	H
SFT-17L (-2)	122	128	170	155	7.5	170	46	309
SFT-30LA, SFT-30L-2	240	240	303	220	10	240	54	425

### ⚠注意

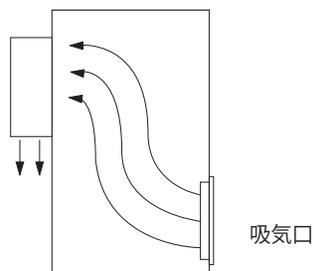


取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
取付ナット M5	1.5~2.0

## ●適切な使用方法

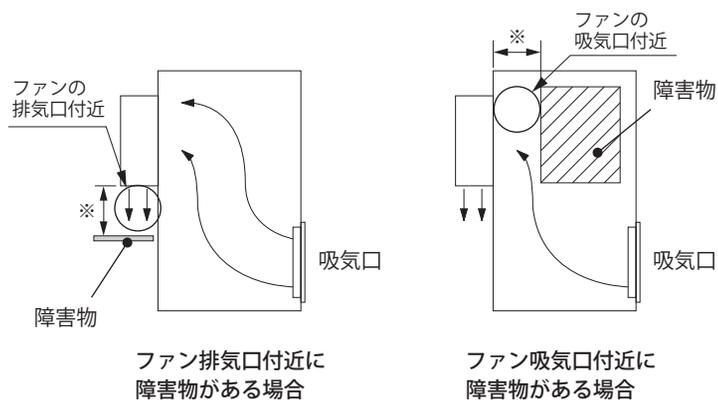
・キャビネットには吸気口(通風口)を設けてください。



### 必要吸気口面積

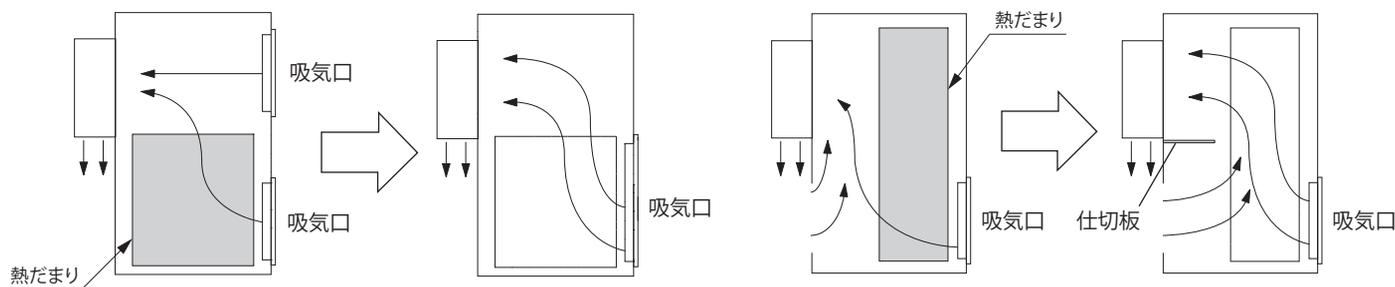
品名記号	吸気口面積 cm <sup>2</sup>	推奨ルーバー
SFT-17L (-2)	76	・SLS-15FR×2台 ・SLS-20FR×1台など
SFT-30LA、 SFT-30L-2	222	・SLS-24FR×2台 ・SLS-4424FR×1台など

**ご注意** ファンの排気口または吸気口付近に障害物がある場合、風量が著しく低下したり、騒音の原因になります。



※ファン排気口または吸気口から障害物までの距離を 150mm 以上離すことをおすすめします。

**ご注意** 通風路の設定によりキャビネットの風量分布が不均一になると、局部的に温度が高くなります。



・経済的な省エネ運転をする場合は、盤用温度調節器、可変式温度調節器などと組み合わせてご利用ください。  
(7 頁「■推奨品」を参照)

## ■結線

<b>⚠ 警告</b>		
 アースせよ	アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。	
	電源には使用する電線サイズに適した定格電流の漏電ブレーカ (感度電流 30mA 以下) を選定し取り付けてください。感電の原因になります。	
		配線は適合した電線、圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災の原因になります。

**ご注意** ファン保護として、ヒューズ、サーキットプロテクタなどの使用を推奨します。

## ■保守点検

### ⚠ 注意



けがの原因になります。

- ・カバー、フィンガーガードを外したまま運転をしないでください。
- ・ファン回転部に指や異物を入れないでください。
- ・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。
- ・付属の警告表示ラベル(回転物注意ラベル)をキャビネット内のファン近傍に貼り付けてください。

ファンユニットは寿命がありますので定期的に交換を行ってください。交換の目安は、常温連続運転で約 40,000 (約 4 年半) 時間です。

- ・交換用のファンユニットについては別途ご用意ください。

### ●ファンユニットの交換方法

1. 付属のL型レンチを使用し、カバー取付ねじ(特殊ねじ) M4×6 (4 か所) をゆるめてカバーを取り外してください。(図 1)

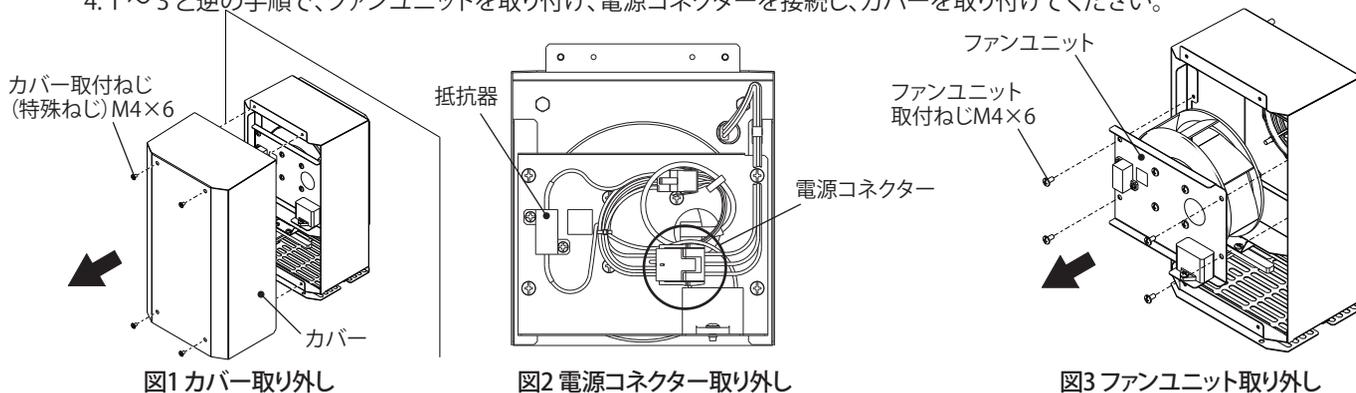
#### ご注意

- ・カバー取付ねじ(特殊ねじ) M4×6 (4 か所) を取り外す際、ねじが固く取り外しにくい場合は、潤滑剤などを使用してください。
- ・抵抗器が高温になっている可能性があります。直接手を触れないでください。

2. 電源コネクタを取り外してください。(図 2)

3. ファンユニット取付ねじ M4×6 (4 か所) をゆるめ、ファンユニットを交換してください。(図 3)

4. 1～3 と逆の手順で、ファンユニットを取り付け、電源コネクタを接続し、カバーを取り付けてください。



### ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締めトルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締めトルク N・m
カバー取付ねじ M4×6	1.0~1.5
ファンユニット取付ねじ M4×6	

## ■オプション

### 【フィルター】

品名記号	外形寸法 mm			材質	除塵率 %	セット内容	適用機種
	ヨコ	タテ	フカサ				
SFT-F17	160	112	14	ポリエステル	80	5 枚入	SFT-17L (-2)
SFT-F30	293	142					SFT-30LA、SFT-30L-2

### ●フィルター使用時の能力

フィルターを取り付けた場合、各機種の能力は下記ようになります。

屋内・屋外兼用 IP 性能：IP55<sup>※1</sup>  
(停止時) (カテゴリー 2)

品名記号	最大風量 m <sup>3</sup> /min <sup>※2</sup>	最大静圧 Pa <sup>※2</sup>	騒音 dB (A) <sup>※3</sup>
SFT-17L	1.5/1.4	177/222	約47/45
SFT-17L-2	1.4/1.2	174/213	約46/43
SFT-30LA	3.6/3.0	139/185	約42/39
SFT-30L-2	3.7/3.9	131/168	約43/44

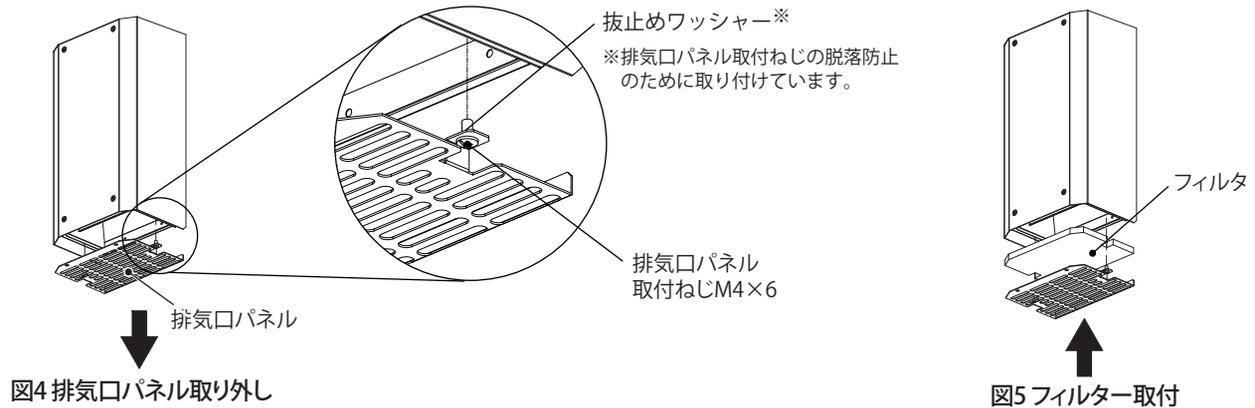
※1. IP 性能は IEC 規格 60529 に基づく試験によるキャビネット側面取付時(ファン停止時)の性能です。屋内使用時のキャビネット天井面に取り付けた場合は IP54 (ファン停止時) となります (屋外使用時は天井取付不可)。上記 IP 性能以上のキャビネットに取り付けた場合のキャビネットの IP 性能を示します。当社判定基準による評価結果です。

※2. 最大風量、最大静圧の測定方法はダブルチャンバー方式です。

※3. 騒音は反響の少ない無響音室で測定した時の値です。現地での据付環境、および反響によって騒音値は大きく影響されますので注意してください。

## ●フィルター取付方法

1. 排気口パネル取付ねじ M4×6 (2 か所) をゆるめ、排気口パネルを取り外してください。(図 4)
2. 排気口パネルにフィルターを取り付けてください。(図 5)
3. 排気口パネルを取り付け、排気口パネル取付ねじ M4×6 を締め付けてください。



## ●フィルターの保守点検

フィルターは定期的に変換または清掃を行ってください。

1か月に1度以上清掃し、1年間使用したものは交換することをおすすめします。(交換の周期は使用環境により異なります。)

## ●フィルターの清掃方法

以下のいずれかの方法にてフィルター清掃を行ってください。

- ・圧縮空気による吹き付け。
- ・掃除機による清掃。
- ・水槽内での押し洗い。
  1. 中性洗剤 5%、湯 95% (湯は約 40℃) の溶液を準備してください。
  2. フィルターを溶液の中に 24 時間浸漬してください。
  3. 溶液の中で、手で押しながらかけてください。
  4. 溶液からフィルターを取り出し、清水ですすいでください。
  5. フィルターを自然乾燥させてください。

## ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

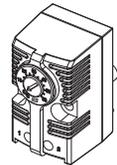
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
換気口パネル取付ねじM4×6	1.0~1.5

## ■推奨品

### 【可変式温度調節器】

ステンレスフード付ターボファンを可変式温度調節器と組合せて自動運転することにより、キャビネット内の適切な温度管理を行うことができ、同時に経済的な省エネ運転が行えます。(設定温度が固定の盤用温度調節器 (PT-40A など) もご利用ください。)

品名記号	外形寸法 mm			温度定格			セット内容
	ヨコ	タテ	フカサ	設定温度 °C	ON・OFF 温度幅 K(°C)	温度公差 K(°C)	
PTV-M61A	31	53	40	0~+60	約7	±4	1コ



PTV-M61A

## ■故障と判断される前に

もう一度、次の点を調べ処置してください。

トラブル内容	処置
動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リード線に電源が供給されていない場合は、電源を供給してください。</li> <li>・ブレーカがOFFの場合は、ブレーカをONにしてください。</li> <li>・ファンの羽根に当たりはないか確認し、羽根に当たりがないようにしてください。</li> <li>・ファンユニットの電源コネクタが外れていないか確認し、電源コネクタの外れがないようにしてください。</li> </ul>
冷却不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルターが汚れ、目詰まりしている場合は、交換または清掃してください。</li> <li>・吸気口および排気口の通風を妨げている場合は、障害物を取り除いてください。</li> <li>・選定の条件よりも内部発熱量が大きい場合や周囲温度が高い場合は、十分な冷却能力は得られません。</li> </ul>

# MEMO

## お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

**TEL (0561) 64-0152**

〈受付時間〉 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は休み)

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2024年7月  
B850310924